

特別企画「読者アンケート」ご報告

機関誌GBRCの発刊200号記念の特別企画として、2025年1月29日～同年2月28日の期間、読者の皆さまにアンケートを実施しました。ここでは、同アンケートの内容と集計結果の概要、および自由記述より頂いたご感想ご意見などから一部を抜粋してご紹介します。

当アンケートへの多数のご回答、誠にありがとうございました。

1. アンケート概要

実施期間：2025年1月29日～同年2月28日
周知方法：機関誌GBRC、法人ホームページ、法人メールニュース、それぞれに掲載
回答方法：WEB上のアンケートFormからの回答
回答者数：合計268名

2. アンケート質問内容

今回のアンケートでの質問内容は以下の通りです。

質問1：回答者について (Q1.1～Q1.5)

- Q1.1 連絡用Emailアドレス (任意)
- Q1.2 業種
- Q1.3 年齢
- Q1.4 お住まいの地域
- Q1.5 業務での当法人との関わり頻度

質問2：機関誌GBRCの閲読状況 (Q2.1～Q2.5)

- Q2.1 機関誌GBRCの閲読歴
- Q2.2 機関誌GBRCを読む頻度
- Q2.3 機関誌GBRCを知るようになったきっかけ
- Q2.4 機関誌GBRCを通常読まれる媒体の種類
また、冊子版の通常の見方
- Q2.5 各記事について読む程度

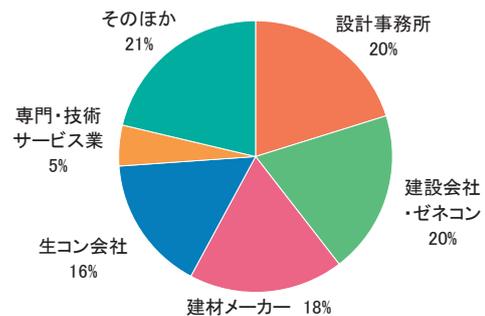
質問3：機関誌に対するご意見など (Q3.1～Q3.3)

- Q3.1 機関誌GBRCは、情報収集や知識向上などに役立っていますか？
- Q3.2 現在の機関誌GBRCに対するご意見やご感想などをお聞かせ下さい
- Q3.3 機関誌GBRCの今後に向け、ご要望・ご期待などをお聞かせ下さい

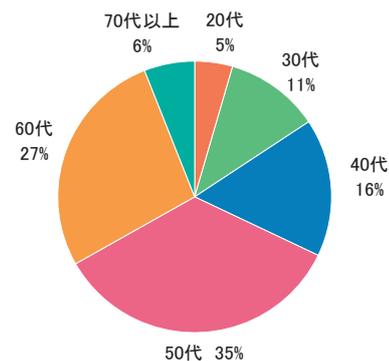
3. アンケート集計結果の概要

質問1：回答者について

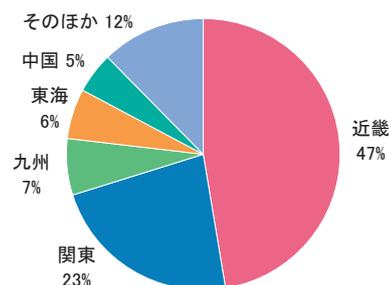
Q1.2 回答者の業種



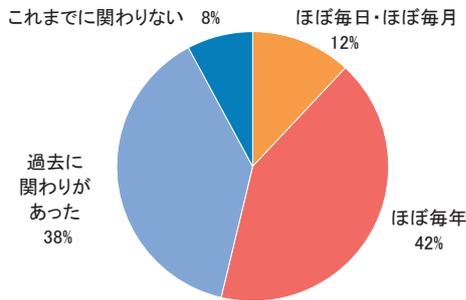
Q1.3 回答者の年齢



Q1.4 回答者がお住まいの地域

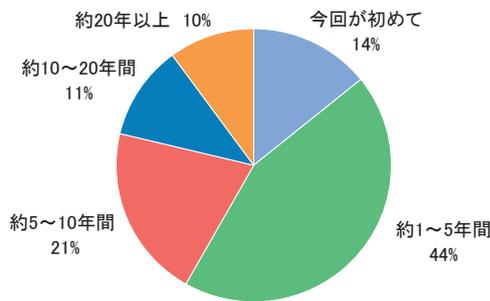


Q1.5 回答者の業務での当法人との関わり頻度

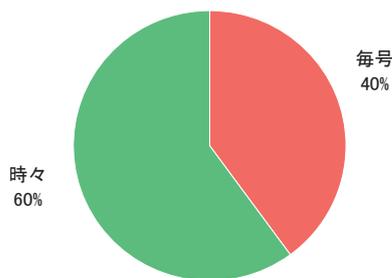


質問2：機関誌 GBRC の閲読状況

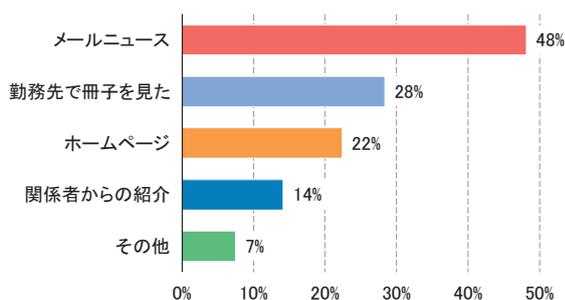
Q2.1 機関誌 GBRC の閲読歴



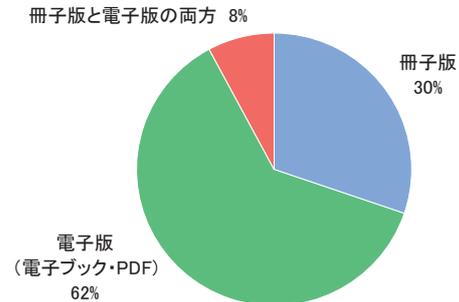
Q2.2 機関誌 GBRC を読む頻度



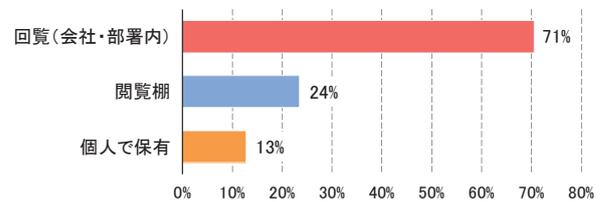
Q2.3 機関誌 GBRC を知ったきっかけ (複数回答)



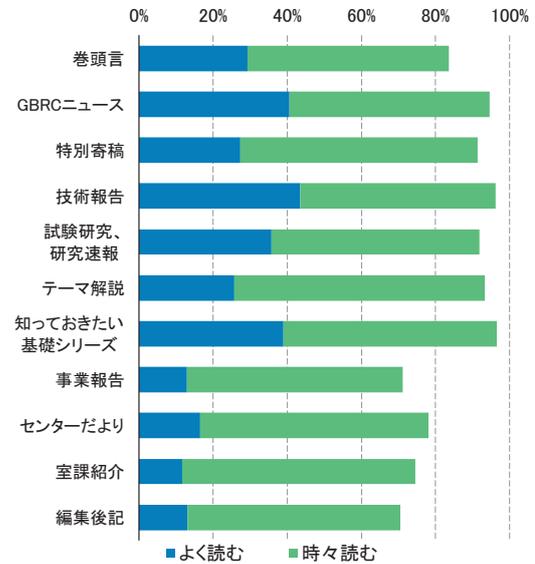
Q2.4 機関誌 GBRC を通常読まれる媒体の種類



Q2.4 (追加質問) 冊子版の通常の読み方 (複数選択)

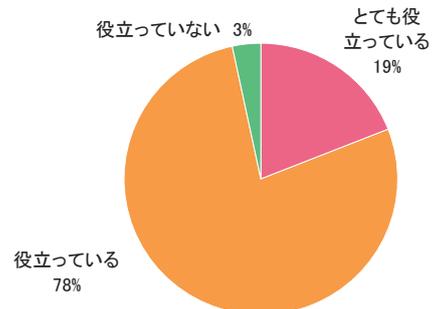


Q2.5 各記事について読む程度



質問3：機関誌に対するご意見など

Q3.1 情報収集や知識向上などに役立っているか



◆◆◆ 読者の皆さまからのご意見ご提案など ◆◆◆

今回のアンケートでは自由記述で多くのご意見などを頂戴しました。その一部を抜粋してご紹介します。
(注：掲載したご意見の一部で誤字訂正や文言の抜粋などの調整を行っております。ご了承下さい。)

全般へのご意見・感想など

- 最新の情報や技術が記載されているのでいつも感心しながら拝読させて頂いております。記載内容も分かりやすく、図や写真も掲載されていてイメージしやすいので参考になります。(生コン会社、30代)
- 毎号発刊のたびに閲覧しています。弊社業務に関わりのある内容、そうでない内容など様々な情報が記載されており、情報源として利用させて頂いております。(設備メーカー、40代)
- 60周年記念セミナーで冊子をいただいて知ることになりました。地震や最新の技術についてのお話などは興味深いです。(専門・技術サービス業、50代)
- 業界の空気感等、情報をつかむ上で役立てています。専門性が高く、難しい内容もありますが今後とも特化してやっていってほしいです。(設計事務所、30代)
- 目次も見やすくなり印刷も紙質も良いと思います。(建材メーカー、60代)
- 専門的な内容が多いものの、分かりやすく解説されていて読み応えがある。業務においても役に立つ内容が多く、記事のテーマ選定も良いと思う。(専門・技術サービス業、20代)
- 最新技術について分かりやすく記載されており非常に参考になっています。(建設会社、30代)
- デザインや分量がちょうどよいと思います。GBRCで取り組まれているさまざまな活動を興味深く拝見しています。(大学・各種学校、50代)
- 未熟な身ですので、機関誌GBRCを愛読し、勉強させて頂いております。知っている事でもいろいろな目線で見直すことができ、新たな発見ができるので、今後も活用させて頂きます。(二次製品製造工場、20代)
- 建築技術に係る調査、研究の結果や設計、施工の報告などが網羅的に把握できて凄く有用です。最近開発された工法なども為になります。(設計事務所、30代)
- 参考になる情報が入ってくるのでとても助かっています。また、知識が深まり勉強になることがたくさん書かれているので、これからも自分の成長のためにも読ませていただきます。(建材メーカー、40代)
- 知っておくべき情報がまとめられていて参考になる。(建設会社、40代)
- 多岐にわたる内容の記事が掲載されており、日頃から各案件に真摯に向き合っている姿が想像され、感心しています。(建材メーカー、60代)
- 第199号で初めて機関誌GBRCを拝見しましたが、ものすごく内容が充実していました。今後も読みたいと思いました。(住宅メーカー、20代)
- 多様なテーマを扱ってくれるので情報を得るのにはありがたい。(設計事務所、60代)
- 学会などの動きや世界の動向からの注目度から、何を課題視しているかを勉強させてもらっています。大変参考になります。(建材メーカー、30代)
- タイムリーに具体的な対応について記事にされており好感が持てる。(建設会社、60代)
- 専門性が高く記載されている内容は社内でも水平展開して活用しています。(建設会社、50代)
- 業界内外のトレンドや新技術への取組みなど、知識と刺激を頂いている。(鋼材メーカー、60代)
- 学術的な記事と業界ニュース、団体のお知らせのバランスが非常に良く、読み応えのある雑誌だなどいつも感心しています。(工業会・協会・学会、30代)
- 工場勤務だけだと知り得ない情報や色々な試験を紹介しているので、新入社員の育成や、既工場人員の講習などに役立てている。(生コン会社、40代)
- 具体的な検証・研究紹介をされており、非常に魅力的に感じる。今後も専門性の高い機関誌として種々情報提供頂けると幸いです。(建設会社、40代)
- 今後も設計事例の掲載等も継続し、情報提供いただきたいです。機密保持の観点から掲載許可に制約も増えつつありますが、設計技術の向上に役立つことを発信頂けると助かります。(設計事務所、40代)
- 他分野で行われている試験内容、評価項目等が参考になります。メール配信での機関誌発行のお知らせは要点がまとめられていてわかりやすいです。継続を希望します。(建材メーカー、40代)
- 新しい技術関連や環境についての今後のことなどが、とても勉強になります。環境への取組みなど、他分野の情報を楽しみにしています。(生コン会社、60代)

- チーム内にて共有回覧に役立っています。(建材メーカー、50代)
 - 会社の専門分野以外について、貴重な情報を得る手段として有用なものと認識しております。これからも引き続きサービスを提供いただけますようお願いいたします。(建材メーカー、40代)
 - 技術の最新情報や研究開発発案のツールとして、良く読ませて頂いております。特に性能証明の評価シートは様々なアイデアがあり参考になります。(サブコン、50代)
 - 技術動向を知る上で重宝しております。実験、計測結果など具体的な数値をもって細部まで理解できますし、内容や文章もわかりやすく読みやすくまとめていると思います。(専門・技術サービス業、60代)
 - 最新の技術動向を理解することに役立つ。自己学習のためにも、部署内等で熟読することを勧めています。(建材メーカー、50代)
 - 各種の試験方法や評価方法の変遷、今後の動向や基準類の根拠・背景など業務に直接的・間接的に関係する内容について、丁寧におまとめ頂いていることに日頃から感謝しています。(工業会・協会・学会、60代)
 - JIS情報・品質管理等の多種多様な記事、また各業界の特別講演資料に感銘する記事もあり色々と勉強になりました。(生コン会社、70代以上)
 - コラム別PDFで区別されており、アーカイブとして読み返す際に便利です。内容は、最新情報が盛り込まれているため、業務にも役立ち、また社内教育としても情報発信しやすいと思っています。(建設会社、50代)
 - 同業の他機関にはない独自の分野、特に伝統木造関係の技術の普及などで、今後の日総試の活動に期待しています。(設計事務所、70代以上)
 - カラーページが多く読みやすい。毎回有用な情報をいただいております、このまま年4回の発行を続けて欲しい。(建設会社、60代)
 - 歴史を感じる機関誌です。末長く情報提供をお願いします。(専門・技術サービス業、60代)
- 各記事に対するご意見・ご要望など**
- 技術報告と試験・研究は知識向上に非常に役立っています。(官公庁・地方自治体、50代)
 - 技術報告では、携わっていない分野については難しく感じる。(研究機関・試験機関、50代)
 - 技術論文は専門性が高く貴重ですが、要点を簡潔にまとめた解説が別にあるとわかりやすいです(専門・技術サービス業、30代)
 - 試験・研究や知っておきたい基礎シリーズは知識として、とても役に立っています。今後も新しい研究結果や基礎シリーズは続けてほしいと思います。(建材メーカー、50代)
 - 技術報告ページで具体的な物件の事例紹介をどんどん行って欲しい。(設計事務所、50代)
 - 知っておきたい基礎シリーズは、若年技術者の教育にも役立ちますので継続して欲しいと思います。連載物はカテゴリー別で紹介いただけると社内展開もしやすいと思っています。(建設会社、50代)
 - 「知っておきたい基礎シリーズ」は生コン初心者にとっては判りやすく書かれてあり良かったと思います。今後も続けて頂けると幸いです。(生コン会社、40代)
 - 「知っておきたい基礎シリーズ」は、勉強になっています。(設計事務所、50代)
 - 業界内での会議や打ち合わせ等で、話をする際に話題にすることがあります。「知っておきたい基礎シリーズ」が色々なジャンルがあり、専門分野が出ている際は参考にさせてもらっています。(生コン会社、40代)
 - 外装材風圧力に関する解説(基礎シリーズ)がわかりやすかった。排煙告示について詳細な解説をしてもらいたい。(建設会社、30代)
 - 法令関係や技術的な内容で専門の方が数ページでわかりやすくまとめている記事をよく参考にさせていただいております。(建設会社、30代)
 - 建築技術性能証明評価シートなどの情報は大変役立っています。(建設会社、50代)
 - どの様な製品が評価取得されているのかを把握するのに役立っている。興味のある試験・研究報告も有難い。(設計事務所、50代)
 - 「超高層建築物評価シート」は設計例として参考になります。また「建築技術性能証明 評価シート」は他社の先進の技術開発情報が入手でき、自社の将来の技術開発目標設定の参考になります。(建設会社、50代)
 - 特に年度別工事用材料試験結果の集計を参考にさせて頂いております。(専門・技術サービス業、50代)
 - 特に性能証明工法部分を読んでいます。新しい工法等を知ることができ、勉強になる。(建設会社、50代)
 - 技術の紹介や解説などの最先端の情報はもちろんのこと、室課紹介や職員表彰などの記事で、GBRCの取り組みなどが非常に参考になります。(専門・技術サービス業、60代)

- 試験研究センターだよりの分量が増えてほしい(建設会社、60代)

発行媒体や配信に対するご意見・ご要望など

- 会社で回覧するのに紙の冊子版は便利。一方で小さい文字などはPDF版が見やすい。表紙裏や目次等にPDF版の案内があると良い。(機械メーカー、50代)。
- 現在は冊子が届くと誌面で読んでいます。特に興味がある記事は、更にデジタルで情報を収集しますので、両者の充実を望みます。(大学・各種学校、60代)
- 電子版で閲覧できるようになり、なお便利になったと感じています。(建設会社、50代)
- 電子ブックは機関誌をオープンにいただき、また、検索のし易さもあり情報収集に非常に助かります。(専門・技術サービス業、60代)
- 電子版はパソコンでの保管が可能なので、引き続きこの形での配信を希望します。(生コン会社、30代)
- 電子で配信していただけるのが助かります。(専門・技術サービス業、20代)
- 冊子の方が見やすいですが、保管時に嵩張るのでペーパーレス化してPDFでの配信のみでも良いかと思えます。(建材メーカー、30代)
- メール配信でもいいのですが、できれば冊子で継続をお願いします。(専門・技術サービス業、50代)
- できれば冊子媒体でも続けていただければと思います。(大学・各種学校、50代)
- ホームページ上の見出しとPDFリンクが大変利用しやすいです。また、バックナンバー検索などもあって、助かります。(建材メーカー、40代)
- バックナンバーを容易に見れるのは、ありがたい。(デベロッパ、60代)
- 各種情報については、ジャンルを明確に分けて通知があると助かる。意匠、構造、設備、施工など、どの情報が主体のものか。(設計事務所、40代)

今後へのご期待やご要望など

- 若手技術者が読みやすく勉強になるものを多く取り扱って欲しい。(設計事務所、20代)
- 初級者向けの記事もあれば教育資料として活用したいです。(生コン会社、60代)
- 基礎的な内容と時代の潮流に関する内容のバランスも大事に感じました。(建設会社、30代)

- 難易度を下げた読みやすい内容を掲載していただけると嬉しいです。(設計事務所、40代)
- 新人教育にも役立つような基礎的な内容も定期的に入れていただきたい。(生コン会社、30代)
- わかり易く記載頂いておりますので、読みやすいです。業界以外の人にも読んで頂きたいので、難易度を下げて頂けると助かります。(研究機関・試験機関、40代)
- 様々な専門分野を取り扱うと思いますが、その専門分野の知見がなくてもわかるような内容を期待しています。(住宅メーカー、20代)
- 構造・設備だけではなく、計画についても記事の中で取り扱ってもらえると読者層が増えるのではないかと思います。(専門・技術サービス業、20代)
- 構造は難易度が高く、年々複雑化しており、理解が追いつかないところがあるため、基本事項を解説していただけるような記事があると助かる。(官公庁地方自治体、30代)
- 構造設計の業務を始めたての人(入社年度の若い人、異動などで構造設計を始めた人)や、解析・構造実験の初学者向けの特集などがあると、今後人材育成の観点より助かります。(建設会社、30代)
- 充実していて面白いです。より専門的なトピックをわかりやすく解説して欲しいです。(設計事務所、40代)
- より専門性の高い内容も掲載して欲しい。(建材メーカー、40代)
- 法令の改正内容や、新たな試験装置導入など最新情報を掲載して頂ける助かります。(建材メーカー、30代)
- 適判機関が指摘する構造設計のよくある失敗紹介を掲載して欲しい。(設計事務所、40代)
- 構造適判のよくある指摘に対して、構造設計者とのQ&A対話を設けてほしい。指摘回答事例に基づいて設計も大切だが、設計者判断が近年少なくなっている気がする。(設計事務所、30代)
- 確認申請や適合性判定業務におけるトピックス等掲載いただければ、一般の設計事務所の方もより関心が高まると思われます。テクニカルなことに関してQ&Aのコーナーがあれば助かります。(設計事務所、60代)
- Q&Aとして、指摘事例集とは別に貴社の確認審査機関、適判等でどの様な指摘をしているかを各号で数例載せてもらえると有難い。(設計事務所、50代)
- 認定建物や工法などの評価シートを特に興味深く拝読しています。評価シートの建物や工法の詳細内容の解説のページがあると有り難い。(設計事務所、50代)

- JIS工場の意見や疑問、質問など、各工場担当者からの生の声を載せて欲しいです。(生コン会社、60代)
- コンクリート材料に関する法改正などがあった場合は、今まで以上にタイムリーな情報展開をして頂けると助かります。(建設会社、50代)
- コンクリート関係で、特殊配合、いろいろな材料の使用方法、養生方法、補修方法、現在の問題点などの新技術や今後の方針などの特集を希望します。(建材メーカー、50代)
- 生コンJIS関係と、これから必要とされる生コンクリートのあり方、国内資源の有効活用とか、材料に関する考え方とか。また、メール配信だと絶対読みます。(生コン会社、60代)
- JIS関連の記事をもう少し載せていただきたいです。(建材メーカー、50代)
- 建築基準法の改正や省エネ法改正など今後も最新の情報を解説願いたい。(官公庁・地方自治体、50代)
- 技術的な発表が減ったように思われます。若い人が取り組みやすい資格の特集があってもいいと思います。(建設会社、50代)
- 今と同じ内容の機関誌を継続してほしい。固すぎず、柔らかすぎず。(建材メーカー、50代)
- 現在の評価方法や基準類において問題となっている、あるいは今後問題となりそうな事象のご説明と今後の方向性・見通しなどについて解説いただけましたら幸いです。(工業会・協会・学会、60代)
- 技術報告、研究、研究速報は非常に参考になるので末永く続けて頂きたい。(設計事務所、60代)
- 建築・土木・防災(地震津波情報)の情報をお願いします。(設計事務所、60代)
- 「試験・研究」において、工学的な投稿はあるが、設計者、現場、メーカーからの現場の声なるものを掲載してみてはいかがでしょうか？(建材メーカー、60代)
- 脱炭素に関する専門的な内容をより多く取り上げていただきたい。(専門・技術サービス業、60代)
- 構造物の長寿命化対策に関する技術提案など今後の日本のインフラに重要と思えるので多くを取り上げていただきたい。(生コン会社、60代)
- 防火認定の内装制限に関する記事を集めてほしい。(建材メーカー、50代)
- 防耐火性能評価等における評価試験と評価書適用範囲(仕様)との関連並びに範囲設定等に関して、公的機関としての基準(考え方)等の経緯・背景、公的基準との関係等について、平易なご解説を頂けると、申請依頼の際の参考となります。(建材メーカー、60代)
- 専門ではない分野の内容は、専門用語でつまづいてしまう時があるので、あまりメジャーでない用語には、専門ではない人向けのかみ砕いた表現または解説があればとても助かります。(建設会社、60代)
- 評定案件の統計情報が1年に一度(もう少し稀でもよいですが)掲載されると、現況を理解しやすいように思います。(大学・各種学校、50代)
- 今後は南海トラフなど、地震の問題があると思いますので耐震技術の最前線や既存の技術の応用などあれば読んでみたいです。(機械要素製造会社、40代)
- 新技術、新工法等を重点的に書いて下さい。建築、土木学会誌とは切り口の違う情報を期待しております。(建材メーカー、70代以上)
- 省エネについて、興味がありクライアントからの問合せも多いですが、小規模な専門設計事務所なので、なかなか費用対効果、イニシャル・ランニングコストの実勢を把握することができないので、コスト面も含めた情報に期待したいです。(設計事務所、50代)
- 建築が専門ではありませんが、最先端の研究の他に異業種の人でも分かるような柔らかい話題が含まれるととっつきやすいと思いました。(造船所、50代)
- 木造建築など、近年の需要に即した対応が行われ記事にされている。さらにニッチな需要に対応できるよう進めていただきたい。(建材メーカー、50代)
- 欲を言えば、たまにどこかの建築物(世界遺産とか)の写真とか説明文とかあれば、楽しいかなと思います。(そうですね、題名は、世界遺産巡りとか?)すみません。ただの夢です。(生コン会社、60代)
- 読んでいると、色々勉強になることが多いので、引き続き機関誌を継続して欲しいと思います。より専門性の高い内容や現在の社会情勢に即したものを多く取り扱って欲しいと思います。(設計事務所・40代)
- 業務に関係しない記事でも日総試で出来ることがわかるので、幅広く業務内容を紹介していただくと助かる。(建材メーカー、50代)
- 日総試の組織別の業務をもっと詳しく知りたい。また、あらゆる分野における技術の変遷などにも興味があります。(生コン会社、60代)
- 今後も客観性、専門性を維持しつつ、わかりやすい機関誌づくりを期待しております。(専門・技術サービス業、60代)

この他にも多数のご意見やご提案を頂きました。頂戴したご意見等は今後の誌面改善に活用させていただきます。アンケートへのご協力、ありがとうございました。